

---

# 海底

天窪 雪路

---

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

海底

### 【Nコード】

N8652P

### 【作者名】

天窪 雪路

### 【あらすじ】

暗闇の中に押し込められている。それはあたかも事故であった。

それは本当に些細なことがきっかけであった。あまりにも退屈でありふれたきつかけだから、それについていちいち書くまでもない。というよりも、それについて書こうとしたところで、その作業は難航を極めるに違いない。特徴らしい特徴を持たぬ凡庸な存在を描写することは難しいのだ。

それはそうと、とにかく僕らはそんな些細なことをきつかけとして、現にこうして暗闇の中に押し込められている。それはあたかも事故であった。

僕らは南極の厚い氷の上にいる。

ある瞬間に氷面にわずかにひびが入った。それは加速度的に四方八方へと走っていき、僕らはそれに気づかぬ間に、光の届かぬ海底へと沈められたのだ。僕らが安全だと信じきっていた氷は決して僕らを十分に支え続けられるほどのものではなかったのだ。

僕らはやがて感覚という感覚を失う。肉体的な痛みも、精神的な痛みも。恐怖感や絶望感すらも失われていく。

最後に残されたとてつもない眠気のみを感じて、僕らは海底で静かに眠る。文字通り呼吸もせず、ただ静かに。

真つ暗な暗闇の中で。何もかもが失われた世界に僕はただ存在している。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n8652p/>

---

海底

2011年1月9日07時35分発行